



宮城県美術館の文化的価値を一切無視した無謀な計画であり、県内外から、宮城県美術館の現地存続を強く求める多数の声が寄せられました。

その時点で、村井知事が、宮城県美術館の現地存続を強く求める県内外の多数の声に真摯に耳を傾け、宮城県美術館の文化的価値を正しく理解した上で、「宮城県民会館、宮城県民間非営利活動プラザ及び宮城県美術館の集約・複合化に向けた検討を進める」のか否かについて、熟慮を重ねて基本的な方向性についての政策判断を行うべきでした。

ところが、村井知事は、「集約・複合化」案に固執し、宮城県美術館の現地存続を強く求める県内外の多数の声を一切無視して、宮城県美術館の文化的価値を正しく理解しないまま、「宮城県民会館、宮城県民間非営利活動プラザ及び宮城県美術館の集約・複合化」という結論ありきで、突き進み、その過程で、「集約・複合化」案に対するお墨付きを得ることを目的として、3624万5000円もの巨額の税金を投入して本件業務委託契約を締結したのです。

しかし、宮城県美術館の移転については、

県民の支持も、県議会の支持も得られないことが明白となり、村井知事は、宮城県美術館移転を断念せざるを得なくなりました。

村井知事は、今頃になって、「宮城県美術館の文化的価値が理解できていなかった」などと弁解していますが、宮城県美術館をめぐる政策の迷走は、これまで宮城県美術館の運営に携わってきた宮城県職員、美術館についての専門家、美術館利用者の声に真摯に耳を傾けて、基本的な政策の方向性を決定しなかった村井知事の独善的な政治姿勢・政策形成手法によって引き起こされたものです。

3 今後について

宮城県は、「集約・複合化」案の作成過程で、日本工営株式会社にも業務委託しており、今回の日本総合研究所に対する業務委託と合わせれば、1億円ちかい税金を投入しており、途方もない税金の無駄使いが行われています。仙台市民オンブズマンは、そのような税金の無駄遣いを根絶するために、住民訴訟の提起を視野に入れつつ、業務委託料支出についての村井知事の責任追及を続ける所存です。

電通補助金中抜き問題について

仙台市民オンブズマン事務局長
弁護士 宇部 雄 介

今年5月から6月にかけて持続化給付金の事務委託問題（一般社団法人サービスデザイン推進協議会が約769億円で委託を受けた事務を約749億円で電通に再委託）が報道されました。

委託をした経済産業省は、同協議会が設立以来、決算公告を一度も行っていないことを今回の疑惑発覚まで知らなかった等と説明したようですが、このこと自体大問題です。仮に事業実施を丸投げし、その後は何らチェックもしていなかったというならば、経済産業省は官庁として事業実施の能力がなく、官庁の体を為していないことになります。

誰の利益のためにこのような契約をしたの

かを、会計の番人である会計検査院がきちんと調査して、国民の前に明らかにすべきです。

この問題に関して、仙台市民オンブズマンは、2020年9月20日（日）に開催された第27回全国市民オンブズマン・オンライン大会で、「住民訴訟によって地方自治体の違法な会計行為を正してきた経験に踏まえ、会計検査院が、地方自治体の一部の監査委員のように盲腸的な存在になることがないように、全国のオンブズマンがみんなで会計検査院に是正措置を取るよう要請しましょう。そして会計検査院が是正しきれないならば、住民訴訟と同様に国民が国の財務会計行為の違法を正すための訴訟制度の創設に向け今後活動を進めていくように頑張りましょう」と提案しました。

平成24年度の政務調査費返還訴訟の傍聴

● 裁判は迅速に

仙台市民オンブズマン
タイアップグループ 小 原 邦 雄

凡そ8年前の政務調査費の裁判で、聴いていて隔靴搔痒の観。ずいぶん前に政務活動費に変わっており、関係者の記憶は遠くオンブズマンも攻め手に苦勞していたよう。

社民党の小山さんへの尋問では、横浜市の視察で2名の委員が「原鉄道模型博物館」へ行ったことが問題にされていた。ここは素晴らしいジオラマもあり、原氏個人の施設で完全に「遊び」でしょう。視察とはね？

共産党嵯峨さんは答弁に曖昧さもなく、淡々としていた。人件費に絞っての尋問だっ

たが、問題点はハッキリしなかった。

眠そうだった裁判長は事後嵯峨さんに感想を聞いた。彼女は「我々は一円から領収書を付けている、この訴えは心外だ」のように述べた。

結論として「裁判の迅速性」が求められる。折角大勢の人が時間と労力をかけての作業ゆえ、効率的でありたい。彼等が政活費を使ううえでの大きな警鐘にはなっている。

● 良い意味での緊張感

仙台市民オンブズマン
タイアップグループ 津 田 正 敏

延び延びになった地裁での「証人尋問傍聴」であった。第一日目だけの傍聴しかできなか

ったが、二人の議員の発言を聞くことができた。最初は、もうすでに政党としては存続していない「みんなの党」の議員であり、もう一方は社民党の議員であった。

法廷内でのやり取りの印象からすると、光熱費とか電話の使用の問題とかのことが多かったように思われた。その様なやり取りから類推すると、個人としての生活と議員としての公的な活動がゴチャゴチャになっているようであり、議員本人自身、私的な活動なのか公的な活動なのか判別がつかないような議員活動をしているとの印象を受けた。

法廷内でのやり取りで、議員さんたちの「よく聞き取れない発言」があったが、若い弁護士さんらの工夫を重ねた尋問には共感させられました。また直接・間接的に仙台市議会議員に、公的な活動をチェックすることにより、良い意味での緊張感を与えていると思います。

● 政務調査費裁判傍聴

仙台市民オンブズマン
タイアップグループ 泉 田 元 子

コロナウイルス蔓延で長いこと延期になっていた政調費裁判がやっと再開されるとの連絡がタイアップグループから届いた。

はて？平成24年って？古株議員は別としてその他議員のメンツがさっぱり浮かんでこない。長年、市議会傍聴を続け、議員を観察してきたウォッチャー会メンバーとしては甚だ情けない限りだ。

11月4日、9時45分からの第一日目の証人尋問を傍聴しようと裁判所へ向かった。正面玄関を入るとすぐ、セキュリティチェックが待ち構えているではないか。

話には聞いていたがまるで空港と同様の厳重なチェック体制に驚く。金属探知のゲートをくぐり手荷物のX線検査を受け101法廷へと急いだ。

コロナ渦で傍聴席も座席制限がかかり傍聴できないことも想定してきたのだが重い扉を開けると、窓際側の証人関係者傍聴人は6、7人ばらばら、そしてオンブズマン関係傍聴者はウォッチャーメンバーたった一人だけではないか。いきなり拍子抜けしてしまった。証人尋問についての報告は文字数の関係上、他の方にお任せすることにして、証人召致された「みんなの党・みんなの仙台」元議員二人、一期だけで空中分解のごとくあっという間に消え去ったが、7年前には、たしかに存在していたことを懐かしく思い出した。

● 平成24年度の政務調査費返還訴訟の傍聴にて

仙台市民オンブズマン
タイアップグループ 佐 藤 利 夫

今回の裁判は平成24年度分のもので、「当時の記憶がもうない」などという証人が目立ちました。あまり年月が経たないうちに説明を求める事が、今後の課題になるのかもしれませんが。

さて、今回一番印象に残ったのは、やしろ美香元議員の使い方でした。

政策作りの顧問料(?)をある方に毎月10万五千元支払っていた件。ご自分の懐から支払っていたのならいいのですが。

政務調査費として計上するなら、議員活動にその成果が出ているかどうか問われるもの。それを説明するには...そうそう、議会ウォッチャーの議員通信簿を引き合いに出せば良かったんじゃないか、と。

実際に24年のそれを見ると、多くの質問は事前に調べれば済むものですが、「優れた質問」というものが時々ありました。この部分はその成果だったのかもしれませんがね。

という訳で、担当判事の皆様には議員通信簿をぜひ参考にいただき判決を下して欲しいですね(笑)

北海道・東北オンブズマン ネットワークのご報告

北海道・東北市民オンブズマンネットワーク事務局長
弁護士

石 上 雄 介

去る令和2年12月5日（土）WEB会議の形式で北海道・東北オンブズマンネットワーク第56回例会が開催されました。今年の夏に予定されていた新潟での北東ネット例会が中止となりましたので、1年ぶりの会議となりました。

今年は北東ネットに大変ご尽力いただいた、いわきの江尻朱美さん（7月7日）、山形の佐藤欣哉先生（10月17日）の訃報がありましたので、会議の冒頭で黙祷をささげました。改めてご冥福をお祈りいたします。

今年も各地で政務活動費について活発な取組について報告がなされ、政務活動費について各地の実情にそった問題提起が多数なされました。山形市議会では、全国オンブズマン連絡会議が作成している政務活動費の情報公開度ランキングにおいて最下位グループに

なっていることに基づいて制度改善の申入れをしたところ、劇的に情報公開制度が改善されたという報告もなされ、各地の改革運動が実を結んでいることも報告されました。

政務活動費については、各地の実情について包括的な検討を加え、来年6月12日、13日に予定されている新潟での例会において、さらなる制度改善を提言する準備を整えていきたいと思います。

WEB会議形式でも充実した話し合いがなされましたが、やはりメンバーで直接集まって元気な顔を拝見しながら話し合うのが一番だと思いました。コロナ禍の終息を祈りつつ、北東ネットのご報告をさせていただきます。



「仙台市民オンブズマン」の活動

2019.12.24 ~ 2020.12.15

2019

12. 24 広報紙等のネット上の情報公開拡大に関する申し入れ（県議会議長宛）

2020

1. 24 オンブズマン1月例会
2. 4 タイアップ例会
2. 21 オンブズマン2月例会
3. 24 オンブズマン3月例会
5. 20 オンブズマン5月例会
6. 2 タイアップ例会
19 オンブズマン6月例会
7. 6 電通中抜き問題検討会
12 オンブズマン総会
21 タイアップ拡大役員会
8. 4 タイアップ総会
20 オンブズマン8月例会

9. 17 オンブズマン9月例会
21 ~ 21 オンブズマン全国大会
30 宮城県美術館監査請求打合せ
10. 1 宮城県美術館監査請求
6 タイアップ例会
16 オンブズマン10月例会
27 宮城県美術館監査請求意見陳述
11. 4 仙台市議会平成24年度政務調査費証人尋問
9 “
11 “
17 オンブズマン11月例会
12. 1 タイアップ例会
7 会報「オンブズマン」編集打合せ
14 オンブズマン12月例会、忘年会
15 会報「オンブズマン」52号発行

タイアップ会長あいさつ

仙台市民オンブズマン・タイアップグループ会長

山 田 忠 行

今年もあと半月を残すだけ、2020年はコロナ感染拡大が世界を席巻してしまいました。来年は良い年にしたいものです・・・。

今年はコロナにより、残念ながら支援企画は実施できませんでした。「来年こそは」と、未来志向で2月例会において検討したいと思っています。

さて、日本もアメリカも政権が替わりました。日本では前政権を引き継ぐと現首相は言い、国民は安堵よりもメッセージも対話もない政権に不気味さを感じています。

一方のアメリカは、ツイッターでフェイクを撒き散らかしたトランプの悪夢からやっと解放され、差別と分断を乗り越えるため、新しい陣容の政権になりました。それぞれ道は平たんではなく、乗り越える壁もいくつもあるでしょうが、うまく乗り切って欲しいと思います。

さて、2021年は、未来に希望をもつ年にするため、タイアップグループもオンブズマンとともに歩んでまいりたいと思います。

タイアップグループの 会員を増やしてください!!

タイアップ会員を増やす取り組みをおこなっています。

ご友人、ご家族、依頼者や取引先など、お知り合いに声を掛け、まず1人お誘いいただけないでしょうか。お誘い用のリーフがあります。宜しくお願いします。

2021年

2月例会＆新年会のご案内

タイアップグループの2月例会は新年会を兼ねて開催します。時節柄「盛大に」というわけにはいきませんが、静かに新年を慶びあいたいと思います。

お料理など差し入れは大歓迎です。ぜひご参加ください。

2021年2月2日(火) 18:00～
朝市ビル4階 宮城地域自治研究所

※お料理・お飲み物

差入れ大歓迎です!!



2021年・4月例会は、4月6日(火)

・6月例会は、6月1日(火)の予定です
会員の皆様の参加をお待ちしています

会員のご紹介と会費納入のお願い

■今期の会費が未納の方、お手数でも払い込み下さい。(振込用紙同封しました)。会員拡大はタイアップ活動のエネルギーの源です。会員・賛助会員それぞれ紹介チラシもありますのでご請求下さい。

納
入
先
費

七十七銀行本店(普通) 6530010
郵便局振込 02290-6-8050
仙台市民オンブズマン・タイアップグループ

仙台市民オンブズマン タイアップグループ会則

- | | |
|--|--|
| <p>(1) 加入資格：仙台市民オンブズマンの活動の趣旨に賛同し、支援する意志のある個人。</p> <p>(2) 会 費：年10,000円・賛助会員年3,000円
但し、協賛金については、自由に受け付け、緊急時の支援費用に充当する。</p> <p>(3) 活動内容：年2回の会報の発行。臨時の会報は必要に応じて随時発行する。
市民の為の公開講座などを開催する。
その他の事業の企画、実施。</p> <p>(4) 総 会：年1回とし、オンブズマンの総会に準じて開催する。</p> | <p>(5) 役 員：会 長 1名、副会長 若干名
会 計 1名、会計監事 2名</p> <p>(6) 役員会：必要に応じて開催する。</p> <p>(7) 事務局：事務局の所在地は当面、青葉区中央4-3-28 朝市ビル4階とする。</p> <p>(8) 会計について：年会費からの支援金および協賛金からの特別拠出金については、役員会において決定の上、支出する。以上の拠出金、特別拠出金の会計処理内容については、総会の際にオンブズマン事務局より報告を受けるものとする。</p> |
|--|--|